

令和2年度 第8回市長定例記者会見

日時： 令和3年3月12日（金） 11：30～

場所： 庁議室

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、第8回定例記者会見を始めたいと思います。

まず始めに、市における『新型コロナワクチン接種』についてお知らせいたします。当市では、一日に多くの方へ接種機会を提供できる集団接種と、かかりつけ医などで接種できる個別接種を併用して実施します。

集団接種は、中央公民館や金木公民館といった公共施設のほか、交通の利便性なども考慮し、E L M内のE L Mホールにおいても実施します。

個別接種は、市内協力医療機関の診療時間内で接種いただくもので、現在、複数の医療機関にご協力いただける見込みとなっており、より多くの医療機関にご協力いただけるよう、引き続き西北五医師会と調整を図っているところです。協力医療機関については、詳細が決定次第お知らせいたします。

今後のスケジュールとしては、3月下旬を目途に、新型コロナワクチンコールセンターを開設し、接種に関する相談に対応してまいります。4月に入りましたら高齢者への接種券を送付しますので、接種を希望する方には専用電話及び専用webページなどから接種予約を行っていただきます。

以降、国が示す接種順位の公表時期に合わせ、対象となる方へ順次接種券を送付しますが、接種開始時期としては、高齢者が4月下旬からを想定しており、基礎疾患のある方や高齢者施設での従事者への接種も順次実施し、これら高齢者等の接種が概ね完了した頃、その他64歳以下の方の接種を行うこととしております。

市民の新型コロナワクチン接種が円滑に行われるよう、引き続き各部局が連携し協力して対応してまいります。

次に、『五所川原市認知症地域見守り事業』についてお知らせいたします。

新年度4月より、認知症が原因で行方が分からなくなった方を素早く保護するため、五所川原市認知症地域見守り事業を開始いたします。

当事業は、衣服や持ち物に貼れるQRコードが印刷されたラベルシールとICTサービス「どこシル伝言板」を用いて、安否情報をインターネットの掲示板上で共有し、身元確認や家族への引き渡しを円滑に行うものであり、24時間365日連絡可能となっています。

利用方法としては、事前に登録をしていただき、QRコードが印刷されたラベルシールを1人当たり50枚、無料配布いたします。

万が一、行方が分からなくなった場合であっても、このラベルシールが衣類や持ち物に貼ってあれば、発見した方がQRコードをスマートフォンで読み取ることで、居場所や健康状態を入力することができ、その内容が登録しておいた発見通知メールアドレスに配信される仕組みとなっています。

認知症の方は予想より遠方に移動してしまう場合も多く、身元の特定に時間がかかることもあります。多くの市民に当事業を知っていただき、認知症の方が安心して暮らせるよう、地域における見守り体制の強化を図っていきたいと思います。

以上のような事業がございますので、記者の皆様には、当市の情報発信にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。